

案内

実験動物の命を覚える礼拝

1月19日(金)相模原キャンパスの礼拝は、動物の命、生きとし生けるものの命を感謝する礼拝です。ペットのように身近な動物もいれば、大学内の実験で犠牲となる動物(生物)もいます。どのような命も最後まで生ききること、生き尽くすことが大切です。人間に与えられている責任を自覚するときを持ちましょう。

オルガニスト養成講座演奏会

相模原キャンパス

日時 1月20日(土) 15時
場所 ウェスレー・チャペル

青山キャンパス

日時 2月3日(土) 14時30分
場所 ガウチャー記念礼拝堂

被災地を覚える祈り会

日時 3月9日(金) 12時(予定)
場所 青山キャンパス 本部礼拝堂

大学卒業礼拝

日時 3月24日(土) 9時、12時(予定)
場所 ガウチャー記念礼拝堂

洗礼を受けられた方へ

本学在学中に、教会で洗礼を受けられた方は、各キャンパス宗教センターにお申し出下さい。

教会暦と典礼色

キリスト教には教会暦と呼ばれる固有の暦があります。古くから人々は、時間もまた神が与えてくださったものであることを覚え、教会暦にそった祝祭日を祝うことで、イエス・キリストの生涯を覚えつつライフ・スタイルを整えてきました。この教会暦には象徴となる典礼色も定められています。呼称や期間区分は教会によって多少異なりますが、本学では合同メソジスト教会の教会暦にもとづいて、アドヴェントアドヴェント、「待降節」(紫=悔い改め)、クリスマスクリスマス、「降誕節」(白=栄光・喜び)、「公現節」エピファニー (緑=恵み・希望・成長)、「受難節」(紫=悔い改め)、「受難日」(赤=血・贖罪)、「陰府下り」(黒)、「復活節」(白=栄光・喜び)、「聖霊降臨週」(赤=火・力)、「神の国節」(緑=恵み・希望・成長)、という周期を用い、聖壇のオルタークロスと礼拝週報の印刷色もこれに合わせています。

青山学院大学礼拝週報

2018. 1. 15.
1. 22.

No. 34,35合併号

公現節第3、4週

聖書の人々 [31]

「ゼカリヤ」 Zechariah

ゼカリヤは預言者ハガイと共に紀元前6世紀末に活動した預言者です(エズラ記5:1, 2、6:14参照)。そのころバビロン捕囚から帰還したイスラエルの人々が着手したエルサレム神殿の再建工事は、反対勢力により強引に武力で中断させられていました。

こうした中、ゼカリヤは、「わたしに立ち帰れ」(ゼカリヤ書1:3)という神の強い招きの言葉で語り始めます。また、神が示した幻を全部で8つ語るのです。その中で、「わたしは憐れみをもってエルサレムに帰り／わが家をそこに建て直させる」(1:16)、「わたしはあなたのただ中に住もう」(2:15)という神の力強い約束が告げられます。さらに、「武力によらず、権力によらず／ただわが霊によって」(4:6)と神の主権的な関与が宣言されるのです。駄目押しに、「恐れてはならない。勇気を出すがよい」(8:13)と語り掛けています。ゼカリヤを通して告げられた神の言葉は人々の心を動かし、工事は再開され、ついに神殿は完成に至りました。このように神殿再建事業という先の見えない取り組みに、勇気と希望を与える言葉をゼカリヤは語り伝えました。



今年度主題聖句

いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。どんなことにも感謝なさい。

これこそ、キリスト・イエスにおいて、神があなたがたに望んでおられることです。

(テサロニケの信徒への手紙 一 第5章16~18節)

今週の聖句

「神が清めた物を、清くないなどと、あなたは言うてはならない。」(使徒言行録 第10章15節)

解説：使徒ペトロは同胞のユダヤ人だけではなく、外国人にもキリストの福音を宣べ伝えようとしてしました。その時、神は、外国人の食物も清いものであり、古いユダヤ教の食物禁止規定にとらわれてはならない、とペトロに告げられたのです。ここから国際結婚も認めるグローバルなキリスト教の伝道が本格化しました。

「実に、キリストはわたしたちの平和であります。」(エフェソの信徒への手紙 第2章14節)

解説：キリストは、神から見離されて当然であった罪人のために、自ら命をかけて、神へのとりなしのわざを成し遂げられました。神と人間の間の橋渡しとなり、平和を樹立して下さったのです。相入れない二者が一つになるところに初めて平和が成り立ちます。平和を望むなら、私たちがキリストに倣わなければなりません。

青山キャンパス／ガウチャー記念礼拝堂

(月～金・10時30分～11時)

(夕礼拝／火・18時～18時30分)

相模原キャンパス／ウェスレー・チャペル

(月～金・10時30分～11時)

1月15日(月)

司式 西谷 幸介
奨励 露木美奈子
(東洋英和女学院元高等部長)

前奏 奏楽 坂戸 真美
招詞
讃美歌 (灰色) 18
聖書 マタイ 22:17～21
(新43頁)
奨励 「大切にすべきもの」
祈祷
頌栄 (灰色) 24
祝祷
後奏

1月16日(火)

司式 大島 力
証詞 平野 修一
(宗教センター事務長)

前奏 奏楽 作井清雅子
招詞
讃美歌 (灰色) 430
聖書 ヨハネ 11:25
(新189頁)
証詞 「聖書が
与えてくれた希望」
祈祷
頌栄 (灰色) 25
祝祷
後奏

夕礼拝

1月16日(火)

コンテンポラリー礼拝
メッセージ シュー土戸 ポール
(大学宗教主任)

聖書 マタイ 5:38～48
(新8頁)
メッセージ
「善を持って悪と戦う」

1月15日(月)

司式 藤原 淳賀
説教 高橋 誠
(八王子キリスト教会牧師)

前奏 奏楽 堀井美和子
招詞
讃美歌 (茶色) 87B
聖書 マタイ 9:35～38
(新16頁)
説教 「倒れそうなときに
知る命」
祈祷
頌栄 (茶色) 541
祝祷
後奏

1月16日(火)

司式 福嶋 裕子
説教 伊藤 大輔
(本多記念教会牧師)

前奏 奏楽 羽柴 真樹
招詞
讃美歌 (茶色) II 1
聖書 ルカ 10:38～42
(新127頁)
説教 「黙って聞く」
祈祷
頌栄 (茶色) 542
祝祷
後奏

1月17日(水)

(補講日)

1月18日(木)

説教 塩谷 直也
(大学宗教部長)

前奏 奏楽 松浦 光子
招詞
讃美歌 (茶色) II 172(1～3節)
聖書 コヘレト 9:6
マタイ 6:16～18
(旧1045、新10頁)
説教 「苦しいときほど
オシャレを」
祈祷
讃美歌 (茶色) II 172(3節)
祝祷
後奏

1月19日(金)

司式 高砂 民宣
説教 北中 晶子
(ICU教会牧師)

前奏 奏楽 堀井美和子
招詞
讃美歌 (茶色) II 58
聖書 サムエル上 3:2～10
(旧432頁)
説教 「サムエルは
まだ知らなかった」
祈祷
頌栄 (茶色) 542
祝祷
後奏

1月22日(月)

説教 森島 豊
(大学宗教主任)

前奏 奏楽 坂戸 真美
招詞
讃美歌 (茶色) 187
聖書 マルコ 10:17～22
(新81頁)
説教 「卒業写真の
あの人は～」
祈祷
頌栄 (茶色) 543
祝祷
後奏

1月18日(木)

説教 大島 力
(大学宗教主任)

前奏 奏楽 作井清雅子
招詞
讃美歌 (灰色) 458
聖書 出エジプト 4:1～5
(旧98頁)
説教 「信仰という杖」
祈祷
頌栄 (灰色) 27
祝祷
後奏

1月19日(金)

実験動物の命を覚える礼拝
説教 福嶋 裕子
(大学宗教主任)

前奏 奏楽 鷲 晶子
招詞
讃美歌 (茶色) 121(1,2節)
聖書 フィリピ 2:6～11
(新363頁)
報告 平田 普三
説教 「生物の共存に向けて」
祈祷
頌栄 (茶色) 543
祝祷
後奏

1月22日(月)

説教 大宮 謙
(大学宗教主任)

前奏 奏楽 堀井美和子
招詞
讃美歌 (茶色) II 233
聖書 Iペトロ 1:3～9
(新428頁)
説教 「準備中」
祈祷
頌栄 (茶色) 544
祝祷
後奏

※1月17日(水)は補講日のため、両キャンパスの大学礼拝はありません。

讃美歌(灰色): 讃美歌21

讃美歌(茶色): 讃美歌・讃美歌第二編